

令和7年度
すくわくプログラム活動報告書
(実施対象：2歳児クラス)

モニカ荏原中延園

M  nica

テーマ

砂

設定理由

砂遊びをしていた時に表面と掘った砂の色の違いに気づき、疑問に思っている姿が見られたため。また、公園によって砂の感触や見た目が違うことに興味を持っていたため。

対象クラス

2歳児クラス・10名

活動のねらい

砂に興味を持ち、色や感触の違いに気づく。
砂の感触の変化を感じる。

問　　い

「色が違うね」「触ってみる？」

活動期間

令和7年4月～6月

活動回数

計3回

活動①

画用紙の上に砂を置いて観察する。

活動内容

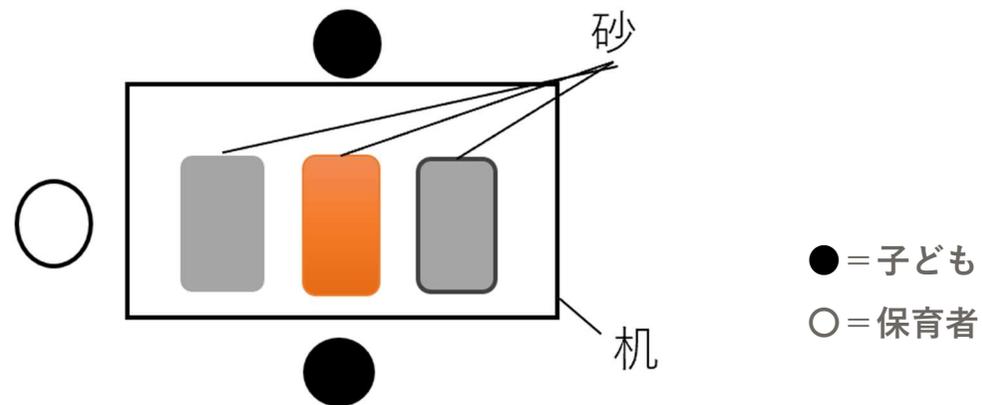
実施場所：公園 4/28

活動②

異なる砂を触り、比較をする

活動内容

5/20.27.6/3.10。砂を3種類用意し、透明な容器に入れて観察したり触ったりする。2人ずつにわかれ少人数で行う。 実施場所：保育室



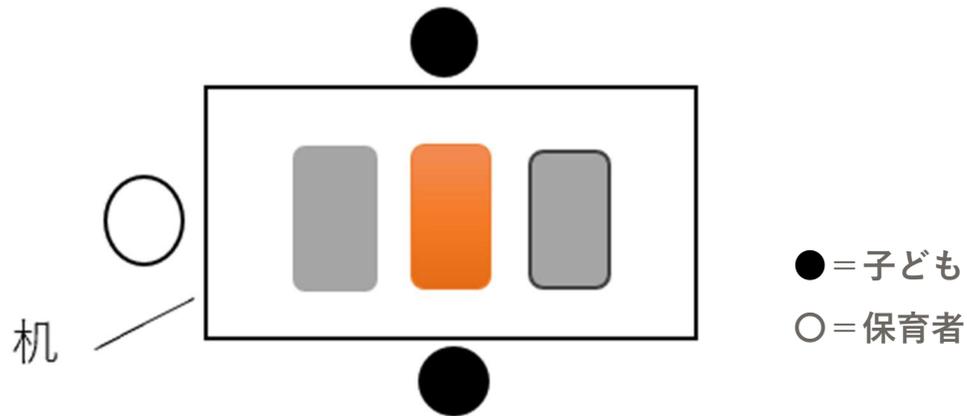
活動③

砂が入っている容器に水を入れ、砂の流れや感触の違いを楽しむ。

活動内容

6/20.27。透明なトレーに砂と水を入れ、触って感触を楽しんでいく。2人ずつにわかれ少人数で行う。

実施場所：保育室



使用物

画用紙 黒・白(各4)砂 | 砂(感触、色の異なる3種類) | 透明な容器(3) | 水 | じょうろ

Apple iPhone12 64GB ホワイト | 砂あそびセット

砂×画用紙

めろん組 小野寺



砂に興味津々の子どもたち。
そこで白と黒の画用紙を用意し、
渡してみました！

「砂って白なの？」
「なんかキラキラにも見える！」

「見て見て！」
「お絵描きができるよ！」
「丸描いてみた！」



『ジャー』
(画用紙の上に砂をおく音)
「せんせい！音が鳴る！」

画用紙を使っでの砂遊びは、砂の色だけでなく、音、形、動きなど様々な砂の変化を楽しむ事ができると学ぶことができました。
この活動での気づきを大切にして、子どもたちの砂への興味をより深めることができる活動をこれからも取り入れていきたいと思ひます！



砂



白と黒の砂を用意し、感触遊びをしました。
砂を握り、こぼれ落ちる様子が気に入った子どもたち。
「砂のシャワーみたいだね。」と声を掛けると、
「ジャー！」と話しながら、繰り返し楽しんでいまし
た。

「あれ！ない！」と話し、手を広げてみると、少量の
砂が手にくっついており、慎重に指で砂を触って感触を
楽しむ様子がありました。



「あれ？砂消えちゃったよ？」
「どこいっちゃった？」と探し、机に敷いていた布と同
じ色だったため、砂が消えたことに驚いていました。

机を触ってみると、「あ！あった！落ちてた！」と砂を
見つけました。色についても気づくことができたよう
です。



指でグリグルとうずまきを描き、

「見て！」
「トイレットペーパーみたい！」
「描き描きできるね！」

と、他の模様も描いていました。

室内でじっくりと砂に触れることが初めてだった
ので、砂を触って

「かたいね。」

「サラサラしてるね。」と教えてくれました。

音の違いにも気づき、保育者も一緒に気づかされた
瞬間があり、成長を感じました。

水と砂



黒色と白色の砂に水を入れた感触遊びを行いました。水と砂が混ざりあっていく様子が面白く、何度も砂を入れて楽しんでいました。

「お団子作れそう！」

と、砂がまとまることに気づきお団子作りに挑戦する子もいました。



「シュワシュワみたいだね。」

「なにジュースかな？」

と砂が炭酸の泡のように見えたようです。

「こっちザラザラしてる。」（黒色の砂）

「柔らかいね。」（白色の砂）



2種類の砂の感触を同時に触って楽しむ子もいました。

水を入れたことにより、今までの砂の感触から変化することに気づき、不思議そうにしていました。

今後も室内で砂に触れられる時間を作っていきたいなと思います。

テーマ：砂

全体の振り返り

砂への興味が深まり、意欲的に活動に参加する姿が見られよかった。少人数ごとに行ったことで子ども一人ひとりの発見に寄り添いながら進めることが出来たと思う。また、室内でも砂に触れたことで興味が止まることなく、感触を楽しむ様子が見られ良かった。

終



株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋1-9-5 KDX新橋駅前ビル 3F
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ荏原中延園

〒142-0052
東京都品川区東中延1-6-2
TEL:03-6421-6740
FAX:03-6421-6741